

洪水、土砂災害などから市民の命を守る施策の強化を！

一般質問最終日の25日、橋爪議員は、災害対策、第5次エネルギー基本計画、原発ゼロ法案、柏崎刈羽原発を対象とした緊急時モニタリング態勢など災害や原発から市民の暮らしを守る市の対応について質問しました。

橋爪議員は、「近年は雨の降り方一つとつてみても異常事態と言われるような災害が各地で発生している」として、「『新たなステージ』に対応した防災の取組のうち、洪水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップ、タイムラインの現状と課題はどうか」と村山市長に質しました。

市長はこれに対し、「『洪水ハザードマップ』については、平成26年度に現在の洪水ハザードマップを作成し、全戸に配布しているが、国、県では、『新たなステージ』に対応するため、想定規模を『千年に一度の大雨』とする洪水浸水想

定区域図を作成し、本年3月までに、関川や保倉川を始めとする市内の9河川について公表した。これを受けて市では、今年度中に洪水ハザードマップの改定を行うため、現在、新たな浸水想定によって、避難所の見直しが必要となる地域の皆さんによるワークショップの実施に向けて、準備を進めている。また、土砂災害については、『新たなステージ』への対応として、『土砂災害防止法に基づく『土砂災害特別警戒区域』等の指定の促進を図ることが求められており、新潟県では、当市における区域の指定を平成29年3月末に完了させている。『土砂災害ハザードマップ』については、県による区域の指定があった場合に、その都度、地域の人たちによるワークショップを開催しながら作成してきており、今年度中にも、土砂災害により住民生活に影響を及ぼす恐れのある地区のハザードマップの作成を完了させることとしている」と答えました。

橋爪議員はまた、災害時に「いつ」「だれが」「何をするか」を計画にしたタイムラインの取り組みについても、「自分だけは大丈夫、という思い込みからどう抜け出すかが重要だ」として提案も含め質問しました。

市長は「『時系列の防災行動計画』と言われるものだが、新たなステージに対する取組では、市町村における避難に関するタイムラインの策定が求められている。既に当市では、平成27年度に気象予測が可能な、大雨と台風への事前行動を定めたタイムラインを策定している。タイムラインでは、災害発生が予想される事態において、市民の皆さんの防災活動や適切な避難行動を促すため、各部署と

各総合事務所が、あらかじめ準備や対応すべき業務を時系列で整理し明確化している」「先般の台風第21号の対応においても、このタイムラインに沿って、市民に台風接近を知らせる安全メールを配信するとともに、保育園と学校では、保育時間と授業時間を繰り上げて、安全な時間帯にお子さんの迎えや帰宅ができるよう措置を講じるなど、適時に必要な対応を取ることができたものと考えている」と答えました。

緊急時モニタリング体制でも質問

柏崎刈羽原発は市民のいのちと安全を守るためには再稼働させないことが一番ですが、橋爪議員は、今年の6月から日本共産党上越市議員団が取り上げてきた緊急時モニタリング体制についても質問しました。

この中で、放射線量の計測データを24時間電光表示にすることなどが明らかにされました。また30キロ圏を超える地域でのモニタリングポストの増設に関して市長は、原子力発電所が立地する同県の知事などで構成

する「原子力発電関係団体協議会」がこの5月にUPZ外の緊急時モニタリングを確実に実施できる体制を早期に構築できるように国に要請していることを明らかにしました。



平成29年度一般会計歳入歳出決算など4件の決算に反対…橋本正幸議員が討論

9月3日から開かれていた9月定例議会（25日間の会期）は、9月27日に最終日を迎え、全ての提出議案が可決・認定されました。



日本共産党議員団は、橋本正幸議員が登壇し、「平成29年度上越市一般会計歳入歳出決算」、「平成29年度上越市国民健康保険特別会計歳入歳出決算」、「上越市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算」及び「平成29年度上越市介護保険特別会計歳入歳出決算」の4決算議案に対し反対討論をしました。

橋本議員は、「子ども医療費助成の拡充や商店リニューアル助成制度、住宅リフォーム促進事業等地域経済の活性化を図る積極的な取り組みであることを積極的に評価している」とした一方で、「昨年の3月議会における予算審議の際に、私たち日本共産党議員団は、財政調整基金を過度に積み立てながら行政サービスのリストラを行っていること、市民の意思を十分確認することなしに上越市体操アリーナの建設予算を計上したこと、高額な国宝太刀山鳥毛を購入することを前提とした予算であると指摘して反対しました。その指摘は決算段階でも同様です」と一般会計決算認定について反対する意見を述べました。

また、いのちと健康を守るべき国民健康保険特別会計など3決算についても「依然として高水準の保険税、保険料を市民に押し付け、給付の段階でもさらに重い負担を強いる仕組みを続けてきた」として同じく認定に反対しました。残念ながら、このような立場に立ったのは、日本共産党議員団だけでした。

なお、一般会計については、市民クラブの丸山章議員は、議場を退出し採決に加わりませんでした。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.606 2018年10月7日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
先 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)